

TOTO

インテリア・バー（コンテンポラリタイプ）

YHR型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1

安全上の注意 （安全のために必ずお守りください）

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

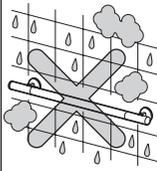
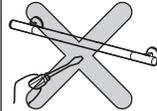
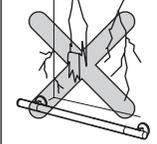
●この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。

	は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
	は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

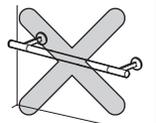
警告

	天然木タイプの手すりは、屋外や浴室などの、水がかかったり湿気が多い場所には取り付けない また、下地および商品を水にぬらさない 部材が腐食することで、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをすることがあります。	
	修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わない 手すりの破損や脱落により使用される方が転倒し、けがをすることがあります。	
	必ず強度のある壁・建築構造体に取り付ける 壁自体に強度がない場合は厚み12mm以上の合板または、同等以上の下地に取り付ける 土壁・石こうボード壁などの強度のない壁に直接取り付けると、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをすることがあります。	

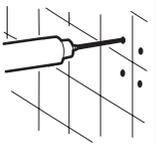
警告

 **必ず実行**

下記品番は、必ず縦向きに取り付ける
横向きに取り付けて使用すると、手すりが外れたりして使用される方が転倒し、けがをすることがあります。
YHR600W1, YHR600W2, YHR600W3



トイレなどの水まわりに使用する際は、取り付け穴の周囲に必ずシーリング剤を塗布する
シーリング剤を塗布しないと、壁裏へ水が浸入し、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをすることがあります。



必ず同梱のタッピンねじ、または当社指定の固定金具を使用し、指定の本数で取り付け
同梱のタッピンねじ、または当社指定の固定金具を使用しなかったり、指定本数より少ない場合、手すりがガタついたり外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをすることがあります。



各下地の取付方法をよく読み、十分な下地の厚さ、および補強があることを確認し、指定の取付方法で取り付け
下地に十分な厚み・補強がないと、手すりがガタついたり外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをすることがあります。



取り付け完了後、手すりにガタツキがないことを確認する
手すりにガタツキがあると、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをすることがあります。



2 取り付け前に

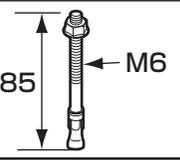
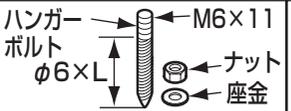
取り付け前の注意

- 手すりを取り付ける壁に**十分な強度がある**ことを確認してください。
- 天然木タイプの手すりは、屋外や浴室などの、水がかかったり**湿気が多い場所には取り付けない**てください。
部品の腐食のため手すりが折れやすくなり、けがをするおそれがあります。
- ステンスタイプの手すりは、屋外や水没する場所には**取り付けない**てください。
変色や変形のおそれがあります。
- 光電センサー付き商品と手すりを組み合わせる場合には、**センサーが手すりを感知しない**ように取り付けてください。
なお、光電センサー付き商品と手すり取付位置は光電センサー付き商品の説明書または設計施工資料集などを参照してください。

- 固定方法は**建物の構造に応じて適切な方法を選んで**ください。
手すりには、木下地用・軽量鉄骨下地用のタッピンねじ(φ4.5×45)を同梱しています。コンクリート下地、コンクリートブロック下地、トイレブースの場合については別途固定金具をご注文ください。
固定金具必要個数は「**③ 固定金具(別売品)**」を参照してください。
※掲載以外の固定方法については、当社各支社・支店、営業所へお問い合わせください。
YHR600W2は、同梱のタッピンねじ(φ4.5×45)にて木下地(壁仕上げ面がタイルの場合を除く)に取り付けてください。
壁仕上げ面がタイルの場合は、タイルが破損するおそれがあります。

3 固定金具(別売品)

〈固定金具一覧表〉

品番	固定方法	形状	セット内訳
T110D3R	アンカーボルト固定		アンカーボルト /4本
T110D26	プラグ固定		樹脂プラグ /20個
T110D34 (L=50) T110D35 (L=30)	ハンガーボルト固定		ハンガーボルト /4本 座金・ナット/ 各4個

〈固定金具(別売品)必要個数〉

T110D3R(アンカーボルト4本入り)、T110D26(樹脂プラグ20個入り)、T110D34・35(ハンガーボルト4本入り)は、手すりのねじ本数に応じてご注文ください。ねじの本数は、I型の場合4本、L型の場合6本です。

品名・品番		下地 (固定方法)	木下地・ 軽量鉄骨下地 (ハンガーボルト固定)	トイレブース (ハンガーボルト固定)注2	コンクリートブロック下地 (ハンガーボルト +樹脂プラグ固定)	コンクリート下地 (アンカーボルト固定)
I型	天然木 タイプ	YHR600W,YHR800W	T110D34 注1	T110D35	T110D34 T110D26	T110D3R
		YHR600W1,YHR600W3	T110D34 注1	— 注3	T110D34 T110D26	T110D3R
		YHR600W2	— 注3	— 注3	— 注3	— 注3
L型	ステンレス タイプ	YHR600M,YHR800M YHR600K1	T110D34 注1	T110D35	T110D34 T110D26	T110D3R
		YHR86WL,YHR86WR	T110D34 注1	T110D35	T110D34 T110D26	T110D3R
	ステンレス タイプ	YHR86ML,YHR86MR	T110D34 注1	T110D35	T110D34 T110D26	T110D3R

注1：壁仕上げ面の厚みが15mm以下の場合、T110D35も使用可能です。

注2：トイレブースの厚み40mm以上の場合のみ使用可能です。なお、事前に補強木を入れておく必要があります。

注3：強度上の理由により、設置できません。

4

部品の確認

次の部品があることを確認してください。

		タッピンねじ		施工説明書	取扱説明書
I型	天然木タイプ	YHR600W	8本	1部	1部
		YHR600W1			
		YHR600W2			
		YHR600W3			
		YHR800W			
ステンレスタイプ		8本			
L型	天然木タイプ	12本			
	ステンレスタイプ	12本			

I型	L型

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

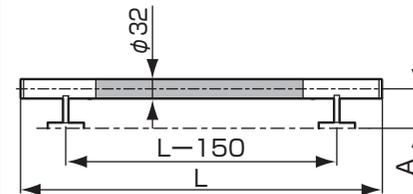
5-2

天然木タイプ

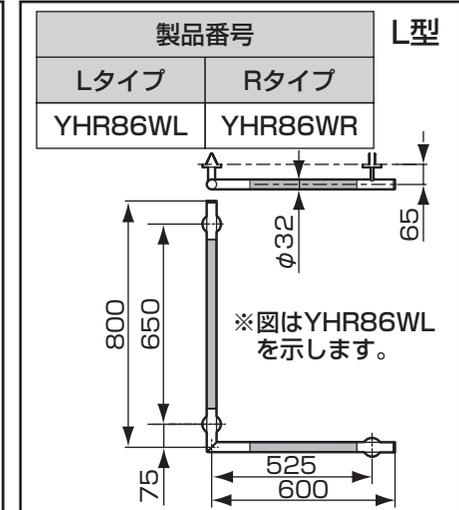
(単位：mm)

※図面の 部は木部分を示しています。

L(mm)	製品番号	A(mm)	I型
600	YHR600W	65	I型
	YHR600W1 ※	130	
	YHR600W2 ※	240	
	YHR600W3 ※	120	
800	YHR800W	65	



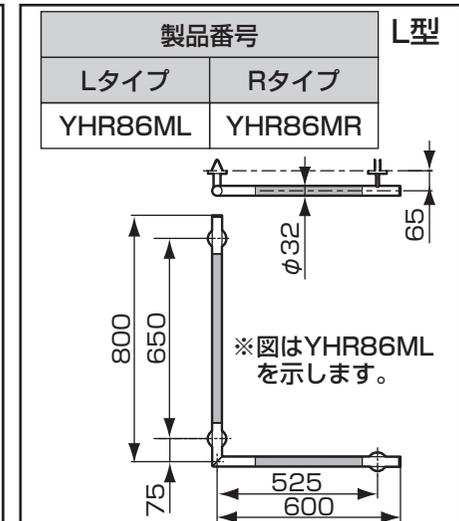
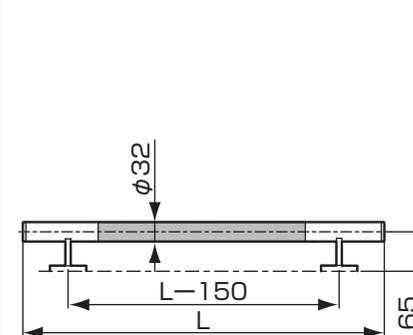
※YHR600W1、YHR600W2、YHR600W3は必ず縦向きに取り付けてください。



ステンレスタイプ (ショットブラスト仕上げ)

※図面の 部はショットブラスト仕上げを示しています。

L(mm)	製品番号	I型
600	YHR600M	I型
800	YHR800M	



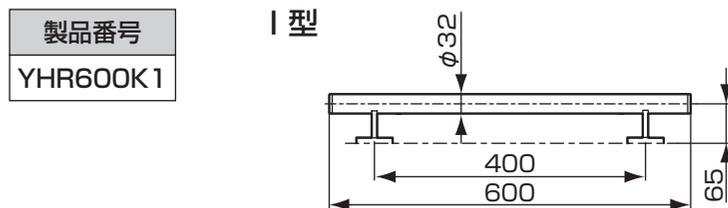
5-1

完成図

ステンレスタイプ(鏡面仕上げ)

(単位：mm)

※全面が鏡面仕上げのステンレス製の握りバーです。



6 施工手順

1. カバーの取り外し

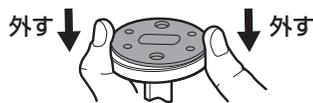
①カバーの縁の片側を押さえ傾ける。



②①を押さえたまま、徐々に周りを押さえ、カバーを外す。



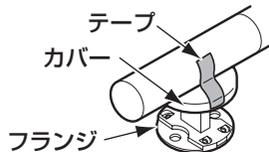
③①と反対側を指で押さえ、カバーを外す。



注意

カバーを工具で突いたりしないでください。カバーが凹んだり、傷ついたりします。

④カバーをフランジより外す。このとき、図のようにカバーをテープで継手に固定すると施工が容易になります。



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なる場合があります。

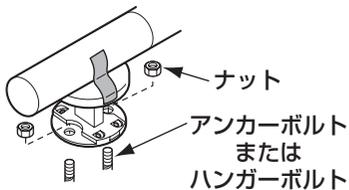
2. 位置決め

手すりの取付位置を決め、穴をあける。
穴あけ方法は「7 手すりの取り付け」の各固定方法を参照してください。

3. 取り付け

①フランジを取付面にねじ止めする。取付方法は「7 手すりの取り付け」の各固定方法を参照してください。

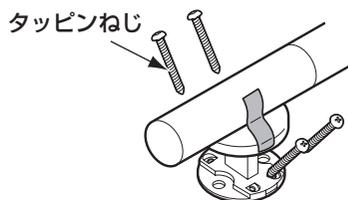
アンカーボルトまたはハンガーボルトで固定する場合



②カバーをフランジに固定する。

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なる場合があります。

タッピンねじで固定する場合



7-1 手すりの取り付け

コンクリート下地：アンカーボルト固定の場合

固定金具品番 T110D3R



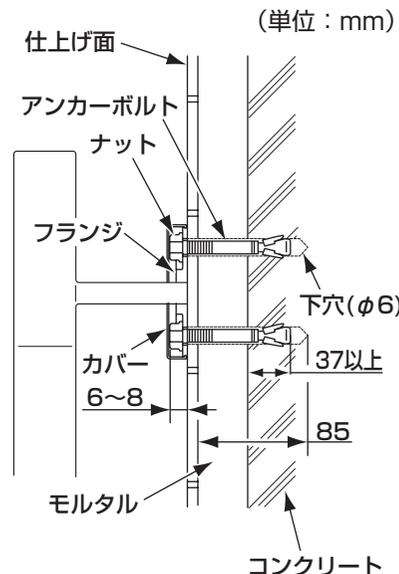
①心出しをしたあと、φ6mm、深さ85mmのアンカーボルトの下穴をあける。**注1**

②ナットをアンカーボルト上端より2mm程度ねじ込み、下穴に軽く打ち込む。**注2**

③アンカーボルトのナットを締め付ける。**注3**
(これにより、アンカーのクサビが開き、アンカーが抜けなくなります。)

④ナットを外し、フランジの取付穴をアンカーボルトに通し、ナットで締め付ける。
アンカーボルトの出代が壁仕上げ面より6~8mmとなるように調整してください。**注4・5**

⑤カバーを仕上げ面に押し付ける。



注意

注1：コンクリートにφ6mm、深さ85mmの下穴をあけることのできるドリルを使用してください。ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心振れを起こすと確実な固定ができないことがあります。

注2：アンカーボルトのコンクリートへの埋込代は37mm以上となるようにしてください。37mm未満では手すりが出たり、壁が壊れたりすることがあります。

注3：アンカーボルトの周囲にシーリング剤を必ず塗布してください。

注4：アンカーボルトの出代が壁仕上げ面より規定の範囲となるようにしてください。規定の範囲から外れると、カバーを傷つけたり、カバーまたは手すりが取り付けできないことがあります。

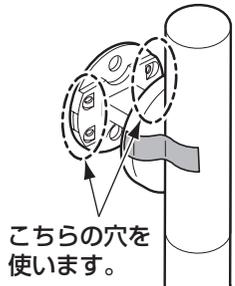
注5：ナットを強く締めすぎてタイルを割らないように注意してください。

木下地・軽量鉄骨下地：タッピンねじ固定の場合

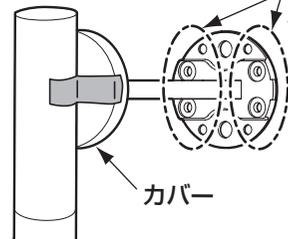
注意

木下地で、壁仕上げ面がタイルの場合は、タイルに斜めの通し穴をあけられないので、ハンガーボルト固定で施工してください。

固定金具品番 同梱のタッピンねじ



■YHR600W2の場合



カバー

注意

カバーを握りバー側に寄せてねじを取り付けてください。
カバーと工具が当たってカバーが凹んだり、傷ついたりすることがあります。

- ①事前到手すり取付部に厚さ12mm以上の補強木を取り付ける。[注1](#)
- ②手すりを設置位置に仮固定し、フランジの取付穴に沿ってφ3mmのタッピンねじの下穴を斜めにあける。[注2・3](#)
- ③タッピンねじをフランジの取付穴より取り付ける。[注3・4・5](#)
- ④カバーを仕上げ面に押し付ける。

注意

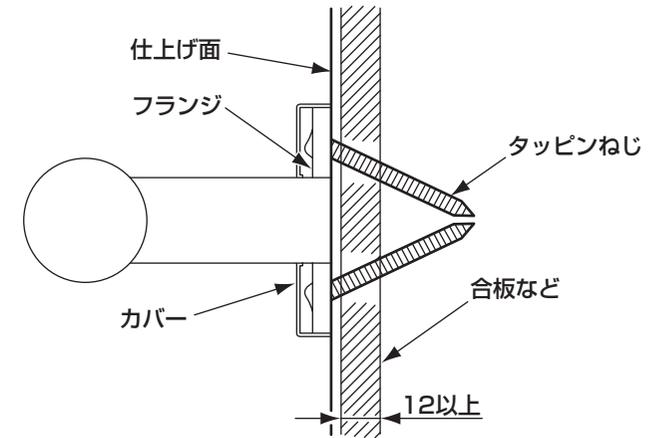
注1：厚み12mm以上の構造用合板(JAS規格品)または補強木を建築躯体に取り付け、手すりはこの下地材に取り付けてください。
合板および補強木を取り付けないと、手すりがガタついたり、外れたりすることがあります。

注2：φ3mmの下穴をあけることのできるドリルを使用してください。
ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心振れを起こすと確実な固定ができません。

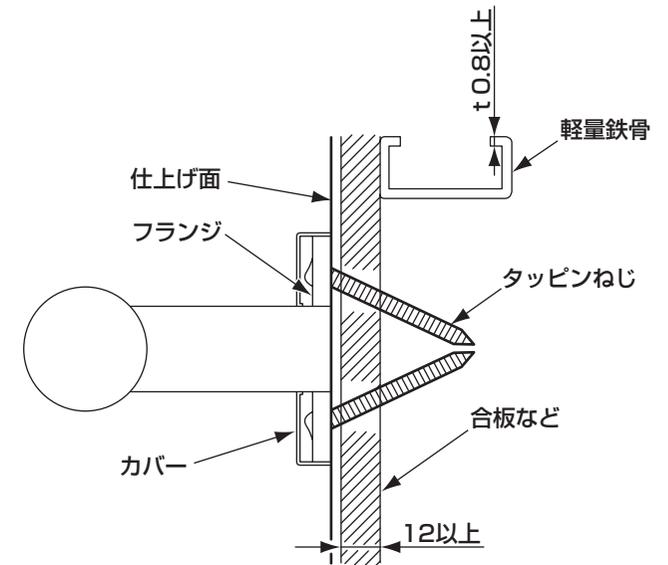
注3：カバーや握りバーを傷つけないように注意してください。

注4：タッピンねじをねじ込む前に、穴の周囲にシーリング剤を必ず塗布してください。

注5：タッピンねじを強く締めすぎて合板・補強木などを破壊しないように注意してください。



木下地の場合



軽量鉄骨下地の場合

木下地・トイレブース・軽量鉄骨下地：ハンガーボルト固定の場合

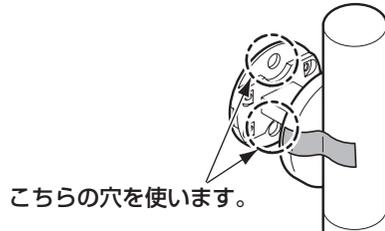
注意

木下地で、壁仕上げ面がタイルの場合は、タイルに斜めの通し穴をあけられないので、ハンガーボルト固定で施工してください。

固定金具品番

木下地・軽量鉄骨下地：T110D34
トイレブース：T110D35

※トイレブースは、厚みが40mm以上の場合のみ商品が取り付けできます。

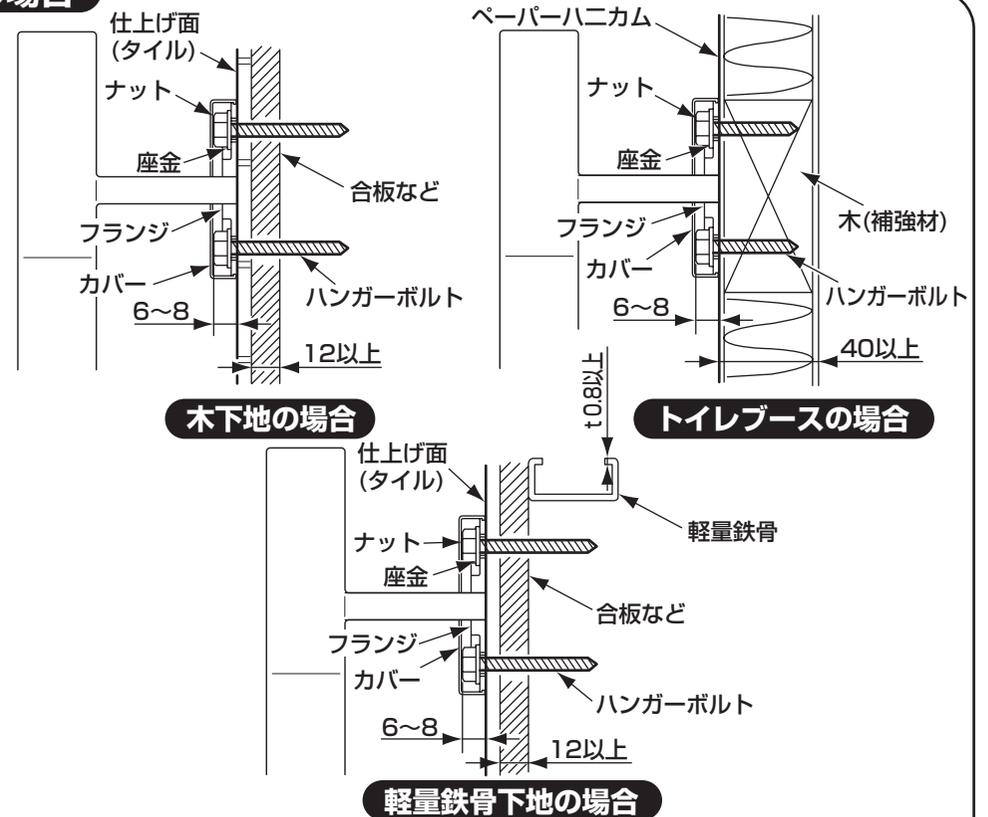


- ① 事前に手すり取付部に厚さ12mm以上の補強木を取り付ける。**注1**
- ② 心出ししたあと、φ4mmのハンガーボルトの下穴をあける。**注2**
(タイルの場合は、タイル部のみφ6.5mmの通し穴をあける。)
- ③ ハンガーボルトに同梱のナット(2個)をダブルナットで固定する(下図参照)。



ナットを2個ねじ込み、お互いのナットを逆回して締め付け、固定する。

- ④ ③で固定したダブルナットを工具で回し、下穴にハンガーボルトをねじ込む。**注3**
- ⑤ 壁仕上げ面よりボルトの出代が6~8mmの範囲になるように調整する。**注4**
- ⑥ ダブルナットを取り外す。
- ⑦ 手すりのフランジの取付穴をハンガーボルトに通し、座金、ナットで締め付ける。**注3・5**
- ⑧ カバーを仕上げ面に押し付ける。



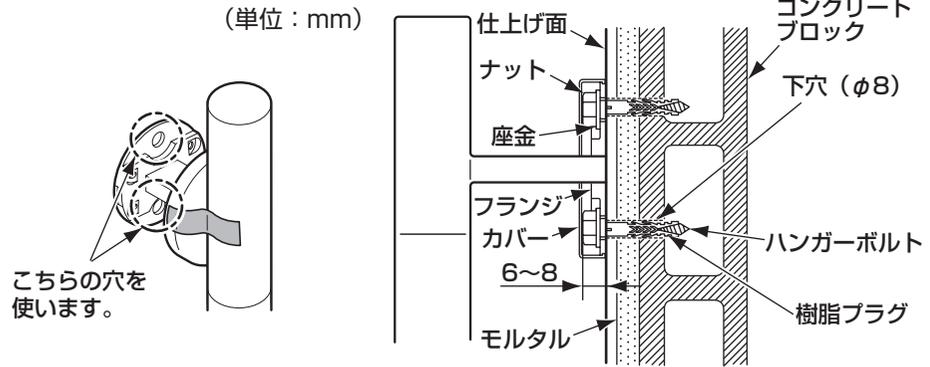
注意

- 注1**：厚み12mm以上の構造用合板(JAS規格品)または補強木を建築躯体に取り付け、手すりはこの下地材に取り付けてください。
合板および補強木を取り付けないと、手すりがガタついたり、外れたりすることがあります。
- 注2**：φ4mmの下穴をあけることのできるドリルを使用してください。ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心振れを起こすと確実な固定ができませんことがあります。
- 注3**：ハンガーボルトをねじ込む前に、穴の周囲にシーリング剤を必ず塗布してください。
- 注4**：ハンガーボルトの出代が壁仕上げ面より規定の範囲となるようにしてください。規定の範囲から外れると、カバーを傷つけたり、カバーまたは手すりが取り付けできませんことがあります。
- 注5**：ナットを強く締めすぎてタイルを割らないように注意してください。

7-4

コンクリートブロック下地：樹脂プラグ+ハンガーボルト固定の場合

固定金具品番 T110D26、T110D34



- ①心出しをしたあと、φ8mm、深さ60mmの樹脂プラグの下穴をあける。**注1**
- ②樹脂プラグを下穴に軽く打ち込む。
- ③ハンガーボルトに同梱のナット（2個）をダブルナットで固定する（下図参照）。
- ④③で固定したダブルナットを工具で回し、樹脂プラグにハンガーボルトをねじ込む。**注2**
- ⑤壁仕上げ面よりボルトの出代が6～8mmの範囲になるように調整する。**注3**
- ⑥ダブルナットを取り外す。
- ⑦手すりのフランジの取付穴をハンガーボルトに通し、座金、ナットで締め付ける。**注4**
- ⑧カバーを仕上げ面に押し付ける。



ナットを2個ねじ込み、お互いのナットを逆回しして締め付け、固定する。

注意

注1：コンクリートにφ8mm、深さ60mmの下穴をあけることのできるドリルを使用してください。ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心振れを起こすと確実な固定ができないことがあります。

注2：ハンガーボルトをねじ込む前に、穴の周囲にシーリング剤を必ず塗布してください。

注3：ハンガーボルトの出代が壁仕上げ面より規定の範囲となるようにしてください。規定の範囲から外れると、カバーを傷つけたり、カバーまたは手すりが取り付けできないことがあります。

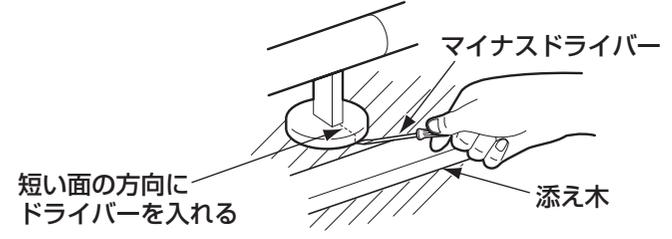
注4：ナットを強く締めすぎてタイルを割らないように注意してください。

※他の施工方法については、当社各支社・支店・営業所へお問い合わせください。

8

カバーの外しかた

フランジからカバーを外す場合は、添え木をして壁面とカバーの間にマイナスドライバーを差し込み、カバーを浮かせる。



注意

ドライバーでカバーや壁面を傷つけないように注意してください。

9

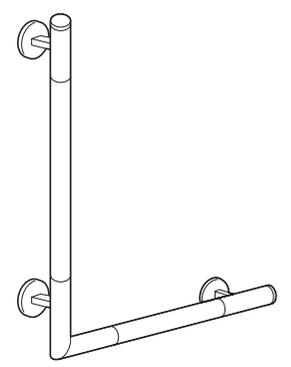
点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

ガタツキの確認

手すりは壁にしっかり取り付けられていますか？

➡ **7** 「手すりの取り付け」参照



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

型紙

使用するフランジの穴および各下穴径は、「⑦手すりの取り付け」を参照してください。
各フランジ位置は、「⑤完成図」を参照してください。

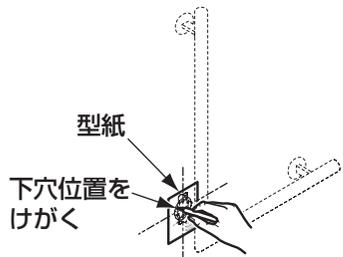
⚠ 注意

! コピーしてご利用される際は、印刷機によって表示内容の大きさが変わることがありますので、寸法確認の上、ご使用ください。

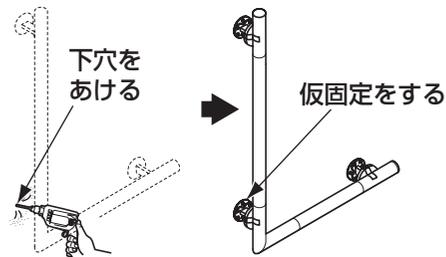
必ず実行

型紙の使いかた

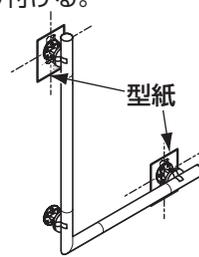
① 墨出し後、型紙を1カ所貼り付け、下穴位置をけがく。



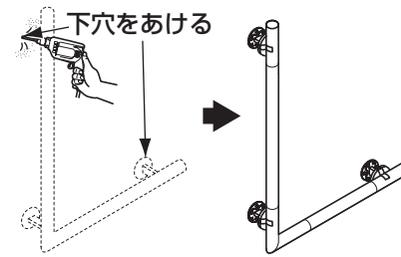
② 下穴をあけ、製品を仮固定する。



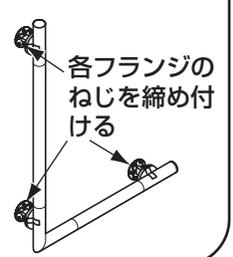
③ 型紙を、墨出し線とフランジ現物の穴位置にあわせながら貼り付ける。



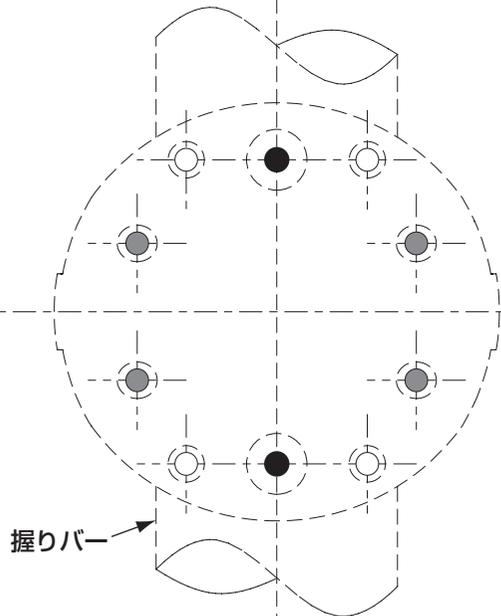
④ 製品をいったん取り外して下穴をあけ、再度製品を取り付ける。



取り付け完了

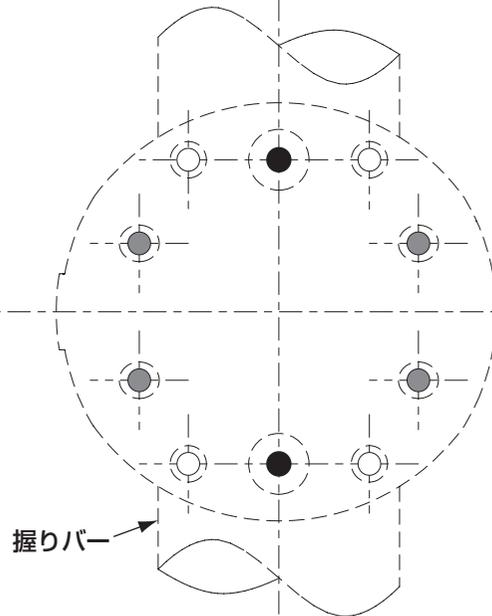


切り取り線



切り取り線

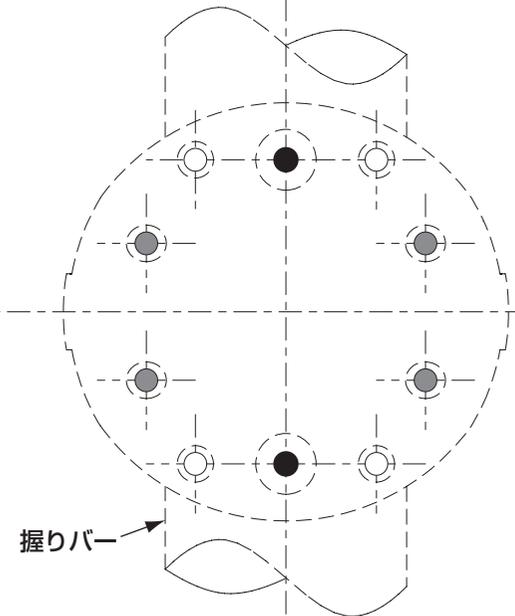
- ハンガーボルト、アンカーボルト下穴位置
- タッピングねじ下穴位置
※斜め向きのため、注意
- タッピングねじ下穴位置
(YHR600W2のみ)



切り取り線

- ハンガーボルト、アンカーボルト下穴位置
- タッピングねじ下穴位置
※斜め向きのため、注意
- タッピングねじ下穴位置
(YHR600W2のみ)

切り取り線



- ハンガーボルト、アンカーボルト下穴位置
- タッピングねじ下穴位置
※斜め向きのため、注意
- タッピングねじ下穴位置
(YHR600W2のみ)